

## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名	明治海運株式会社	上場取引所	東
コード番号	9115	URL	<a href="https://www.meiji-shipping.com/">https://www.meiji-shipping.com/</a>
代表者	(役職名)代表取締役社長C00	(氏名)内田 貴也	
問合せ先責任者	(役職名)取締役常務執行役員	(氏名)水野 敏郎	(TEL)03-3792-0811
四半期報告書提出予定日	2021年8月12日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	9,886	△3.2	579	14.2	457	22.1	458	980.3
2021年3月期第1四半期	10,213	△3.9	507	△60.0	375	△59.4	42	△90.6

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 2,160百万円 ( — %) 2021年3月期第1四半期 190百万円 ( △63.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	13.69	—
2021年3月期第1四半期	1.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	209,344	40,643	9.6
2021年3月期	205,099	38,739	9.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 20,037百万円 2021年3月期 19,072百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	7.00	7.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
現時点では、2022年3月期の期末配当予想額は未定です。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,800	2.8	700	△29.7	300	△57.8	200	△49.5	5.97
通期	43,500	8.3	2,900	39.3	1,700	△35.2	800	△35.8	23.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	36,000,000株	2021年3月期	36,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,491,635株	2021年3月期	2,491,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	33,508,365株	2021年3月期1Q	32,736,735株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、前第1四半期連結累計期間と収益の会計処理が一部異なりますが、影響は軽微なため、前年同四半期との増減率を記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループ外航海運業部門は、前連結会計年度に竣工・取得した船舶の稼働増に加えて、タンカー1隻の新規稼働もあり、売上高は9,156百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。一方費用面では、前年同四半期比で入渠費用が減少したことにより、外航海運業利益は1,129百万円（前年同四半期比57.4%増）となりました。

ホテル関連事業部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、売上高は603百万円（前年同四半期比69.4%減）、ホテル関連事業損失は628百万円（前年同四半期はホテル関連事業損失286百万円）となりました。

不動産賃貸業部門は、売上高は126百万円（前年同四半期比0.4%減）、不動産賃貸業利益は78百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,886百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益は579百万円（前年同四半期比14.2%増）、経常利益は457百万円（前年同四半期比22.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益の計上もあり458百万円（前年同四半期比980.3%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、前第1四半期連結累計期間と収益の会計処理が一部異なりますが、影響は軽微なため、前年同四半期との比較・分析を行っています。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末より4,244百万円増加し、209,344百万円となりました。これは主に船舶等の有形固定資産の増加によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末より2,341百万円増加し、168,701百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

また、純資産の部は、前連結会計年度末より1,903百万円増加し、40,643百万円となりました。これは主に非支配株主持分の増加によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しまして、第1四半期決算を踏まえ見直しを行っていますが、現時点においては、為替の状況や営業損益の不確定要因があることから、2021年5月14日公表時の数値から変更を行っておりません。

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。今後業績予想等の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,117,267	19,535,437
売掛金	476,064	238,636
商品及び製品	23,774	23,634
原材料及び貯蔵品	694,109	676,972
その他	3,644,290	4,003,810
流動資産合計	25,955,506	24,478,491
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	141,496,978	145,863,855
建物及び構築物（純額）	12,159,423	12,014,623
土地	8,672,333	8,678,885
建設仮勘定	5,860,705	6,658,022
その他（純額）	493,880	464,201
有形固定資産合計	168,683,322	173,679,589
無形固定資産		
その他	71,486	86,484
無形固定資産合計	71,486	86,484
投資その他の資産		
投資有価証券	7,338,603	7,637,356
長期貸付金	1,042,321	1,080,177
繰延税金資産	921,103	997,793
その他	1,087,367	1,384,581
投資その他の資産合計	10,389,395	11,099,908
固定資産合計	179,144,204	184,865,983
資産合計	205,099,710	209,344,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金	2,027,378	1,654,243
1年内償還予定の社債	758,000	708,000
短期借入金	30,316,532	29,843,760
リース債務	2,057	2,067
未払金	851,711	389,379
未払法人税等	338,332	442,106
賞与引当金	46,733	75,248
その他	4,043,514	3,845,558
流動負債合計	38,384,260	36,960,364
固定負債		
社債	900,000	870,000
長期借入金	121,313,626	125,169,475
リース債務	2,807	2,286
繰延税金負債	169,852	—
再評価に係る繰延税金負債	1,043,086	1,043,086
引当金		
役員退職慰労引当金	216,222	205,531
特別修繕引当金	1,805,027	2,026,323
引当金計	2,021,250	2,231,854
退職給付に係る負債	370,909	374,433
持分法適用に伴う負債	428,569	390,188
その他	1,725,349	1,659,583
固定負債合計	127,975,452	131,740,908
負債合計	166,359,712	168,701,273
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,800,000	1,800,000
資本剰余金	525,490	525,490
利益剰余金	15,226,332	15,433,181
自己株式	△580,595	△580,595
株主資本合計	16,971,228	17,178,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	441,660	307,497
繰延ヘッジ損益	△581,997	△375,351
土地再評価差額金	1,906,276	1,906,276
為替換算調整勘定	335,767	1,020,736
その他の包括利益累計額合計	2,101,706	2,859,158
非支配株主持分	19,667,062	20,605,966
純資産合計	38,739,997	40,643,201
負債純資産合計	205,099,710	209,344,475

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,213,747	9,886,327
売上原価	8,665,562	8,364,459
売上総利益	1,548,184	1,521,868
販売費及び一般管理費	1,040,926	942,415
営業利益	507,258	579,453
営業外収益		
受取利息	23,711	12,397
受取配当金	30,573	34,306
為替差益	27,283	—
持分法による投資利益	196,266	287,624
雇用調整助成金	—	273,059
その他	158,644	127,576
営業外収益合計	436,480	734,964
営業外費用		
支払利息	527,093	471,391
為替差損	—	80,235
デリバティブ評価損	4,016	252,255
その他	37,535	52,718
営業外費用合計	568,645	856,600
経常利益	375,092	457,816
特別利益		
船舶売却益	—	35,487
投資有価証券売却益	—	169,829
特別利益合計	—	205,316
税金等調整前四半期純利益	375,092	663,133
法人税、住民税及び事業税	244,176	434,135
法人税等調整額	△577,736	△285,883
法人税等合計	△333,559	148,251
四半期純利益	708,652	514,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	666,185	56,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,466	458,766

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	708,652	514,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,982	△132,298
繰延ヘッジ損益	△355,481	487,636
為替換算調整勘定	△103,093	1,206,555
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,731	83,425
その他の包括利益合計	△518,289	1,645,319
四半期包括利益	190,363	2,160,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△193,574	1,216,217
非支配株主に係る四半期包括利益	383,937	943,983

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

#### (1) 収益認識に関する会計基準等

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。これにより、ホテル関連事業セグメントにおけるポイント制度について、従来は、将来にポイントとの交換に要すると見込まれる費用を未払費用として計上する方法によっていましたが、当該ポイントが重要な権利を顧客に提供する場合、履行義務として識別し、収益の計上を繰り延べる方法に変更しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費に与える影響はいずれも軽微であり、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

#### (2) 時価の算定に関する会計基準

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連 事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,115,622	1,971,224	126,900	10,213,747	—	10,213,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,115,622	1,971,224	126,900	10,213,747	—	10,213,747
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	717,770	△286,168	75,656	507,258	—	507,258

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連 事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,156,562	603,312	126,452	9,886,327	—	9,886,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,156,562	603,312	126,452	9,886,327	—	9,886,327
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,129,488	△628,823	78,788	579,453	—	579,453

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しています。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上高に与える影響は軽微です。またセグメント利益又は損失に与える影響はありません。